フィリップ・メリル

頭取・会長
米国輸出入銀行

米国輸出入銀行の頭取兼会長。出版者、外交官、かつ、投資家と、官民両面で幅広い経験を持つ。2002 年 12 月の着任前は、ワシントンマガジン、アナポリスキャピタル他 4 種のメリーランド州の新聞を発行するほか、キャピタル・ガゼット・コミュニケーション社の理事長を勤める。

2002 年 9 月 30 日、ジョージ W. ブッシュ大統領により任期満了 2005 年 1 月 20 日で、輸出入銀行の当ポストに任命される。2002 年 11 月 14 日、米国上院の承認、同年 12 月 4 日に着任。

1990 年～1992 年、ブリュッセルで NATO 事務総長補佐。
1983 年～1990 年、および、2001 年～2003 年、国防省政策決定理事。
1981 年～1983 年、国防政策次官参事官。
1988 年、国防長官から当省における民間人の最高の名誉である殊勲賞を授与。

これまで海洋法会議、国際テレコミュニケーション組合、そして前ソビエト連邦との様々な武装解除と米国を代表して交換協定の交渉を担当した。また、国務副長官の元特別調査官であり、ホワイトハウスで国家安全保障問題のために尽力した。これまでの六政権の下で様々なポストを歴任している。

さらに、アスペン研究所、チェサピーク湾財団、ジョーンズ・ホプキンズ大学、コーネル大学、コーコラン・アートギャラリーの理事の経歴も有する他、戦略予算評価センター会長、戦略スタディ国際研究所米国ディレクターも歴任。国防省ビジネス部門理事の経験も持つ。その他にもメリーランド大学訪問理事、ジョーンズ・ホプキンズ大学上級国際問題研究大学院、上級物理学研究所などの組織の理事も勤める。また、キャピタル・ガゼット財団とメリル家財団を創立。

現在外交問題評議会、チーフ・イグゼクティブ会、世界社長会会員。ホワイトハウス研究員理事会地域委員会議長も長年勤める。またジョージ H. W. ブッシュ大統領の湾岸戦争空軍調査、リーガン大統領の連邦政府経費節減委員会にも参画。

コーネル大学およびハーバード大学ビジネススクール管理者啓発プログラム卒業。エリー夫人との間に ダグラス、キャシー、ナンシーの 3 人の子供がいる。